

おばあちゃんの名前

私立沖繩アミークス小学校六年 大和 碧

「麗子」は僕のおばあちゃんの名前
きれいな子と書く

おばあちゃんがまだお腹にいる時
おばあちゃんのお父さんは戦争へ行つた
帰ってきたとき

戦争のないキレイな世界になるように
と名前に願いを込めた

でも お父さんは帰ってこなかった

「麗子」

「お父さん」

永遠に呼び合えない名前

悲しみが僕にも広がる

悲しみが僕も止まらない

命の連なりの分 悲しみはいえない

果てしなく続いていく

それが戦争だ

おばあちゃんの心の辞書には

お父さんという言葉は無い

それが戦争だ

1人の死でたくさんの人が涙を流す

涙は川になり

悲しみが溢れ出て海となり枯れることはない

77年前地上戦があった ここ沖繩

涙を流す人と共に

20万人の死が悲しみの深海へ沈んでいく

僕は戦争を知らない

けれど

今この瞬間にも戦争はあつて

だからこそ

僕にもできることがある

同じ過ちを繰り返さないよう

正しい事を歴史から学ぶんだ

動いてみるんだ

平和を願い 言葉にするんだ

命と命で会話をするんだ

いろいろな意見を理解し 認め合い

共にすすむんだ

おばあちゃんは言う

子供たちにあんな思いはさせたくない

毎日明るい笑顔で

お父さん お母さんに感謝しなさいと

戦争のないキレイな世界は平和の積み重ね

誰かに心を寄せたり

その優しさをまた誰かに繋げていこう

おばあちゃんがずっとそうしてきたように

そこには笑顔が溢れるから

命の連なりにありがとうと感謝をして

しっかり繋いでいくよ

「麗子」は僕のおばあちゃんの名前

戦争のない未来を夢みたお父さんの

命の願いが 込められている

それを伝え 叶えることこそ

僕に与えられた使命だと思っている